

会 議 記 録

会 議 名	第 1 回本町踏切渋滞等対策検討委員会
開 催 日 時	平成 27 年 11 月 13 日（金） 午後 2 時～午後 3 時
開 催 場 所	香川県庁北館 3 階 303 会議室
議 事	本町踏切の現状と課題、対策方針等について
公 開 の 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上 記 理 由	－
出 席 委 員	紀伊会長、宮崎委員、安藤委員、秋山委員、川崎委員 清原委員、今田委員、渡田委員、木村委員
欠 席 委 員	岡田委員
オブザーバー	－
傍 聴 者	1 人（定員 10 人）
担 当 課 及 連 絡 先	香川県 土木部 都市計画課 TEL 087-832-3558 、 FAX 087-806-0222 高松市 都市整備局 都市計画課 TEL 087-839-2455 、 FAX 087-839-2452

会議の経過及び結果

会議を開催し、次の議事について審議し、下記の結果となった。

- (1) 会長の選任について
紀伊委員が会長に互選された。
- (2) 会議の公開・非公開について
会議は公開と決定した。
- (3) 議事（本町踏切の現状と課題、対策方針等について）
事務局より議事内容について説明。

【主な質疑・意見等】

（委員）

本町踏切の渋滞の原因は、単なる踏切ではなく、交差点と一体となった形状のため、交通処理が難しくなっているからだと思う。暫定整備案では、相変わらず踏切と交差点が混在しており、渋滞解消は難しいのではないかと。

（委員）

現状の交差点形状は複雑で迷ってしまうことがあるが、交差点が広がるとさらにどう通るか迷ってしまうのではないかと。

（委員）

本町踏切における踏切信号については、過去からも話があるが、観光通りのように見通しの良い場所がないので設置は難しい。また、駅も近く、朝夕の通行本数も多い中で信号をつけると遮断機と信号で停止が必要になり、さらに渋滞することになる。信号は安全性と円滑に通行するためにつけるもので、渋滞の原因になるのでは設置することは出来ないものとする。

会議の経過及び結果

(委員)

暫定整備案では交通量を考えて片側2車線としているが、2車線になるということは事故の確率も2倍に増える。踏切の危険度は面積で考えるものであり、暫定整備では、通行量だけでなく安全に対する検討を第一に行うべきである。

(委員)

本町踏切は見通しが悪く危険な踏切であることが広く認識されているため、これまで大きな事故がない。暫定整備であっても安全対策は、慎重にやらなければならない。渋滞解消は単一の踏切だけに固執するのではなく、周辺にも信号があり、それらの交差点を見据えながら考えていく必要がある。また、この交差点には右折レーンが不要ではないか。

(委員長)

単一の踏切の処理だけでの対応は難しいと思うが、周辺の道路状況を含めて対策を考えるという意見であり、検討に加えたらどうかと思う。

(4) 今後のスケジュールについて

今回の意見を基に、複数の暫定整備計画(案)を次回委員会に諮る。

開催時期は、1月下旬頃を予定。